

2024年12月12日

各位

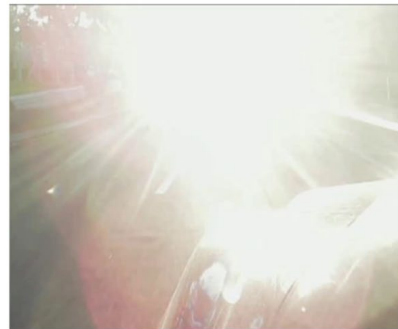
会社名 株式会社ジャパンディスプレイ  
代表者名 代表執行役会長 CEO スコット キャロン  
(コード番号 6740 東証プライム)  
問合せ先 執行役員 CFO 坂口 陽彦  
(TEL. 03-6732-8100)

### サーマルイメージングセンサーの共同開発・製造に関する Obsidian Sensors, Inc.とのパートナーシップ合意のお知らせ

当社は、サーマルイメージングカメラモジュールを製造・販売する米国のObsidian Sensors, Inc.との間で、高解像度サーマルイメージングセンサーの共同開発・製造に関するパートナーシップを合意いたしましたので、お知らせいたします。



サーマルイメージングセンサーの画像



一般カメラの画像

#### 1. 開発背景

当社は、従来のディスプレイ領域に加え、新たな高成長分野へ経営資源を投入する事業戦略「BEYOND DISPLAY」を掲げております。特に、ディスプレイ技術を応用したセンサーの開発には注力しており、今後共同開発を行うサーマルイメージセンサーも、高い成長が見込まれる重要分野として開発を進めてまいりました。

サーマルイメージングセンサーは、一般のカメラが光を検出する代わりに、物体から放射される赤外線エネルギーや反射される赤外線エネルギーを検出して映像化します。このサーマルイメージングセンサーを用いたカメラは、暗い場所や強い逆光下など、一般的なカメラでは撮影が困難な環境での撮影を可能にします。このため、セキュリティ、工業分野、車載カメラ、防衛産業など多くの用途での需要が伸びており、より高解像度の映像化が求められています。当社は、Obsidian Sensors, Inc.とのパートナーシップを通じて、市場の要求にお応えしてまいります。

#### 2. パートナーシップの概要

当社は、Obsidian Sensors, Inc.が保有するLAMP (Large Area MEMS Platform) という革新的な設計・製造技術・知的財産を活用し、当社が高精細TFT (薄膜トランジスタ) ガラス基板製造で培った微細加

工技術・知的財産・生産設備により、従来は20数 $\mu\text{m}$ が限界であったサーマルイメージングセンサーの解像度を12 $\mu\text{m}$ ピッチにまで高めることで対象物の特定精度を向上するための共同開発を行い、製造を目指します。

- (1) 当社での開発・製造は石川工場（第4.5世代）で行う予定です。
- (2) サーマルイメージングセンサー用の高解像度（SXGA（1280 x 1024）、12 $\mu\text{m}$ ピッチ）ガラス基板を2026年までに開発する予定です。

Obsidian Sensors, Inc.の持つ革新的な設計・製造技術と、当社の持つ最先端の高精細TFTガラス基板製造技術をこのセンサー開発に応用することで、競争優位性を確立していきます。

Obsidian Sensors, Inc.について

Obsidian Sensors, Inc.は2017年に設立された米国サンディエゴに拠点を置くサーマルイメージングカメラモジュールを製造するメーカーです。ガラス基板上のTFT構成と表面微細加工技術を統合した LAMP プロセスで、高解像度サーマルイメージングセンサーを低コスト且つ大量に製造することができる世界で唯一の企業です。

Obsidian Sensors, Inc. ホームページ： <https://www.obsidiansensors.com/>

お問い合わせ先： <https://www.j-display.com/contact.html>

以 上